

保護者との意見交換会（１回目）記録要旨

【日 時】平成３０年７月２日（月）１５時００分～１５時４５分

【会 場】第二松江小学校２階 ポプラルーム

【配布資料】第二松江小学校の今後について

【主な内容】

１ 説明内容

- 第二松江小学校の現状について
- 昨年度の取組状況について
- 江戸川区教育委員会の方針について

２ 質疑応答

- 通学区域外でも受け入れてもらえるのか。
→閉校時の在校生については、希望校を調査し、できる限り希望に添えるようにしたいと考えています。
- （閉校）時期が決まるのはいつなのか。
→保護者の皆様の意見も踏まえた上で、なるべく早い段階で決めたいと思っています。今年度中か遅くても来年度の１学期中には決めたいと思っています。
- 閉校時期について何年前までに伝えるといった基準はあるのか。
→基準はありませんが、準備期間もある程度必要だと思いますので、今年度に閉校時期を決めたとして、１～２年（平成３０、３１年度）での閉校ということはありません。
- 昨年度の学校説明会で前校長先生に卒業できると聞いていたが、何年か前から閉校することは分かっていたのか。
→昨年度から今後についての話し合いを始めましたが、平成２５年に公表している統合に関する基本指針では、この地域もいずれかは話し合いを行う必要があるとしています。ただし、卒業できると聞いて入学しているという現実があるのであれば、できる限り配慮はしていきたいと考えています。
- 閉校した後、児童に対してケアはしてもらえるのか。
→基本は事前ケアという形を取っていますが、統合後の様子は、授業や行事などを見たり、保護者の皆様や学校から話を聞いたりして確認しています。具体的な対応は教育委員会内の各部署が行っていくことになります。
- 西小松川町に住んでいる在校生が第三松江小学校を希望した場合、今後、小学校に上がる下の子はどういった対応になるのか。
→兄弟がいれば、通学区域外でも同じ学校に通うことはできます。

○下の子が小学校に上がるタイミングで上の子（兄・姉）も転校できるのか。

→相談をして頂き、状況で判断することになります。なるべく対応していく方向で考えています。

○残り1年間で転校ということになるのであれば、早い段階で転校するという考え方もあると思うので、年度内に時期を決めてほしい。

→なるべく早い段階で決めたいと考えています。

○基本的には閉校まで在籍するのか。先に転校するのは特例ということか。

→各家庭の考え次第です。他の地域でも、統合前に転校を希望した家庭もあり、個別に相談を伺い、対応してきました。

○下の子が小学校に上がるタイミングで上の子も転校となったら、必然的に人数が減ってくるが、そうなったら閉校時期も早まるのか。

→そういった現状も含めて、閉校時期については決めていきます。小規模化が進みますと本来受けるべき教育が受けられない部分も出てきますので、そういった意味では閉校時期が早まることはあります。

○閉校となり、転校した場合、既存のクラスに加わることになるのか。また、PTA役員についてもどのような扱いになるのか。

→基本的には転校先の学校に沿った形になります。学級編成については、個別に相談を伺い、転校先に希望や不安なことについて伝えることはできます。

PTA役員については、あくまでも配慮をお願いするだけにとどまります。活動を見たいという状況に備え、活動予定の周知はできます。

○事前に転校先の学校との交流はあるのか。

→事前の児童交流は行います。方法は様々であり、どのように交流を行うかを第二松江小学校や周辺校と相談しながら進めていきます。

○閉校時期が決まるまで数年かかるというのと、児童は動揺する。何か対策はあるのか。

→閉校時期については早急に検討します。具体的な対応策はありませんが、不安な期間をなるべく短くしていきたいと考えています。